

令和4年度

熊本市バスケットボール協会U12部会臨時総会

令和4年5月13日（金）

【会順】

- 1 部会長挨拶

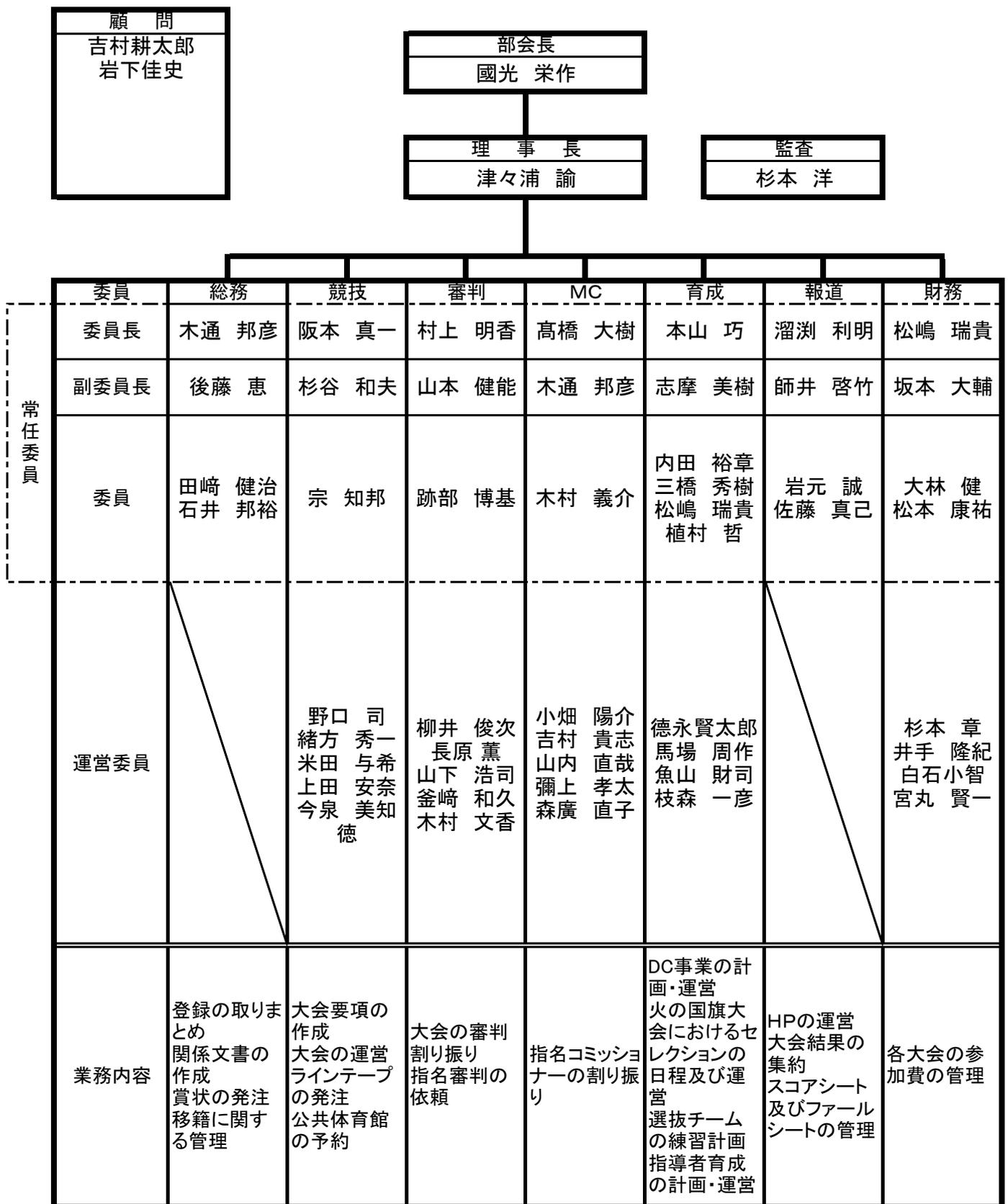
- 2 連絡
 - ① 令和4年度～令和5年度U12部会役員について

 - ② 令和4年度U12部会の事業について
 - 競技委員会
 - 審判委員会
 - MC（マンツーマンコミッショナー）委員会
 - 育成委員会
 - 報道委員会
 - 財務委員会
 - 総務委員会

 - ③ 夏季大会について

- 3 その他

2022年度・2023年度熊本市バスケットボール協会U-12部会 組織図(案)



○1チーム必ず1人は、いずれかの委員になること

○会議等に出席するのは、常任理事(会長、理事長、各委員会委員長、副委員長、委員)のみ。それに伴い常任委員のみ役員費を支払う。

令和4年度市バス協会U-12部会日程表	令和4年度県バスケット協会日程表
(注意)帯同審判はD級以上でないといけません。取得をお願いします。	
<p>5月13日(金) 18:00~市協会評議会 【場所】 パレアホール 【内容】 ○令和4年度市役員の選出決議 ○令和4年度事業について ○ガイドラインについて ○夏季大会の要項について ○その他</p> <p>☆夏季大会 6月18日(土)か19日(日)・・・予選 25日(土)・・・シード決定戦</p> <p>☆市協会長旗大会 10月8日・9日・10日(予定) ...予選、男女代表決定戦、 16日(予定) ...決勝トーナメント1回戦 22日か23日(予定) ...準決勝・決勝</p> <p>☆火の国旗セレクション(未定) (男子) 月 日 (女子) 月 日 →U11も選抜チームに入る可能性がある。</p> <p>☆熊本市ミニバスケットボール新人戦大会 期日; 令和5年3月初旬の予定</p> <p>☆熊本市DC事業 7月にトライアウトを行い、県DCの派遣選手を決定→講習会を12月に行う予定</p> <p>※大会の抽選会は、競技部による代表抽選とします。 <u>※どの大会や行事は、新型コロナウイルスの感染状況によって変更や延期、中止になる可能性があります。</u></p>	<p>【D級審判の新規の実技講習】 ①eラーニングで講義を受けテストに合格 ②実技講習 6月18日(土) 【D級審判の更新について】 更新講習会、eラーニングなし。 【コーチライセンスの取得】 ・C級...9月~11月頃 ・D級...7月中に ・E級...eラーニング受講後、テストに合格</p> <p>5月21日(土) マンツーマンコミッショナー講習会 【場所】 八代市松高小学校体育館 →各チーム1名は必ず参加</p> <p>6月26日(日) 学童五輪抽選 【場所】 →支部理事による代表抽選</p> <p>7月23日(土), 24日(日), 30日(土), 31日(日) 学童五輪→チーム数によっては、3日間になる可能性あり</p> <p>8月6日(土), 7日(日), 20日(土), 21日(日)のうち3日間 U-12リーグ戦 →県内開催。3つのカテゴリー(なかよし、ミドル、チャレンジ)で行う。</p> <p>8月中 県DCトライアウト →11月、1月に練習会</p> <p>11月13日(日) 県大会抽選会 【10:00~ フードパル?】</p> <p>11月26日(土), 27日(日) 12月18日? 熊本県ミニバスケットボール大会 【会場; 】 →決勝戦はヴォルターズの 前座試合</p> <p>1月7日(土) 火の国旗抽選会 【 9:30~ 】 →各選抜チームの代表は参加</p> <p>2月4日(土) 5日(日) 火の国旗大会 【会場】 天草地区一帯</p> <p>2月11日(土) 12日(日) 九州大会 【会場; 長崎県】</p>

服装に関する確認

- ユニフォームについて
- その他

①選手登録後、2ヶ月以内の出場について

	全国大会	九州大会	県大会	学童五輪	地区大会		リーグ戦	火の国旗
備考					県大会予選や県大会予選に向けてのシード権のかかった大会	学年別大会など、シード権のかからない大会		
R3年度～	不可	不可	不可	不可	不可	可	可	可

②リバーシブルユニフォームの使用について

	全国大会	九州大会	県大会	学童五輪	地区大会		リーグ戦	火の国旗
備考					県大会予選や県大会予選に向けてのシード権のかかった大会	学年別大会など、シード権のかからない大会		
R3～R5年度	不可	不可	可	可	可	可	可	可
R6年度～	不可	不可	不可	不可	不可	可	可	可

○靴下・・・チームで主の色をそろえる。

その他の身につけるもの（下記のもの、バンダナ、リストバンド等）もチームで色をそろえる。

○アンダー及びアームカバー・・・半袖タイプは不可

白、黒、ユニフォームの色の単色をチームでそろえる。

○パワーソックス・・・単色、メーカーロゴは可、

ラインや文字は不可。

熊本市バスケットボール協会主催における大会及びDC事業のガイドラインについて

1 はじめに

バスケットボールという競技の特性において、「3密」は避けられない。また、熊本市立小学校の体育館は狭い体育館が多い。「高齢者が同居している」「近親者に感染リスクが高い人がいる」などの家庭事情がある選手がいても、安心して大会に参加できることが必要である。

以上を踏まえて『新しい日常』になり、以前のような活動ができることはない」という前提のもと、指導者や関係するすべての人が協力して大会を運営していくためのガイドラインを作成した。

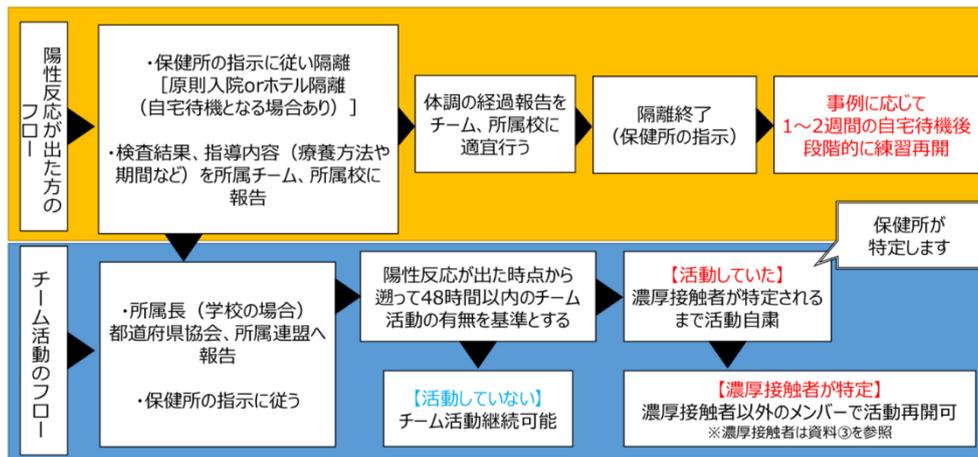
2 ガイドラインについて

本ガイドラインは日本バスケットボール協会の「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第4版（令和3年9月1日改訂）」及び一般社団法人熊本県バスケットボール協会の「新型コロナウイルス対策ガイドライン（令和3年2月作成）」をもとに作成した。

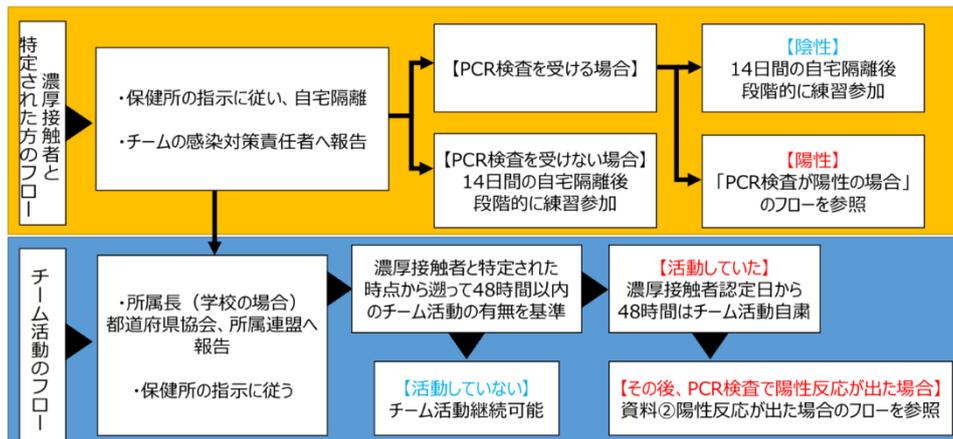
(1) 大会前に関して

一般社団法人熊本県バスケットボール協会の「新型コロナウイルス対策ガイドライン（令和3年2月作成）」の「5. 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応」に沿って、参加の可否を判断する。

【チーム活動時におけるガイドライン】
資料②チーム内選手・スタッフから陽性反応が出た場合のフロー

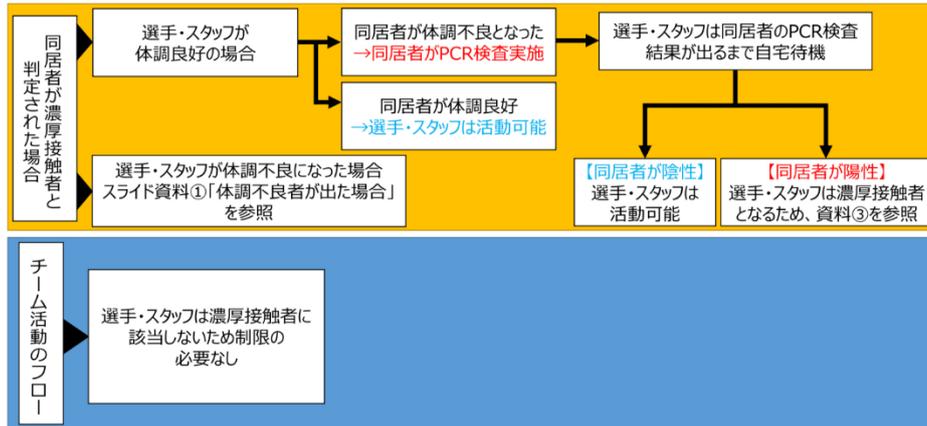


【チーム活動時におけるガイドライン】
資料③チーム内選手・スタッフから濃厚接触者として特定された場合のフロー



【チーム活動時におけるガイドライン】

資料④チーム内選手・スタッフの同居者が濃厚接触者として
特定された場合のフロー



(2) 大会当日について

①体育館の収容人数について

- ・体育館に入ることができるのは、申込書にある指導者と選手に加えて、サポーターとする。
- ・サポーターは保護者のみとし、15名までとする。
- ・感染状況によっては、サポーターの数を3名または、無観客にすることがある。

②体育館の使用方法について（別紙1を参照）

- ・小学校体育館を使用する場合、使用面は1コートのみ
- ・試合が終了したチームが完全に退出してから次に試合するチームが入場すること
- ・体育館に出入りするときは必ず消毒すること
- ・選手はフロア以外ではマスク着用。練習しているときは外してよい。指導者及び保護者は必ずマスク着用すること。（過敏症などで着用できないときは、監督会議のときに各チームに知らせること）

③チームが行うこと

- ・出場する選手は、「大会参加同意書（別紙2）」を記入し、各チームの責任者が保管しておくこと。尚、保管期間は大会終了後3か月とする。
- ・大会当日の朝、「健康管理チェックシート（別紙3）」を記入し、チーム責任者がメンバー表とともに本部に提出すること。（チェックリストは、協会が3か月保存する）
- ・チームIDを首からさげる。（IDをさげていない人は体育館内に入ることができない。）



体育館に入場するときに人数確認を行う場合があります。選手、指導者、サポーターすべて首からさげてください。サポーターが外すことはできません。

【IDの表記】

(チーム名)
〇〇クラブ
(番号)

通し番号でお願いします。
(例) 1~4 …指導者
5~19…選手
20~34…サポーター

- ・各チーム感染対策防止のため、「アルコール消毒」「手洗い用ペーパータオル」を持参する。
- ・クーラーボックス等、共用するものを減らす（使うものは自分のものだけ）
- ・開始10分前のコート挨拶は大きな声にならないようにする
- ・声を出していい時は、試合開始10分前のコート挨拶とプレー中のみとする。
(選手の試合前の声出し及びベンチでの応援は禁止。また、指導者の大声での指導も禁止とする。)

- ・アップ時の円陣は禁止
 - ・試合開始と終了時のあいさつの後の握手なし（選手間、コーチ間、審判とコーチ）。
 - ・選手のベンチや応援席は、間隔をあける
（最低1mは間隔をとるようにする。また、会場校で設置した場所を動かすことがないようにする。）
 - ・出場後やハーフタイムの時には手洗いや消毒を行う
 - ・試合終了の挨拶の後の相手チームへの挨拶は禁止
 - ・使用したベンチは、必ず当該チームで消毒し退出すること
 - ・T0で使用したもの（タイマー、得点板、モップ）は、大会本部が消毒する。
 - ・T0で使う筆記用具は、各チームで用意する。
 - ・T0を行う場合は、マスクとフェイスマスクを着用すること。
 - ・試合球は、チームで準備しておくことが望ましい。
 - ・弁当を含めチーム内のゴミは必ず持ち帰ってもらう（飲みかけの飲料水を手洗い場などに捨てることも禁止する）
- ④ 審判について
- ・ベンチ入りしていない帯同審判はJBAにある審判用の体温チェックシートを使用し、大会本部に提出すること。提出しない場合は、体育館に入ることができない。
 - ・笛を使用する場合は、飛沫防止のためホイッスルカバーを着用すること
 - ・電子ホイッスルを使用してもよい。

(3) その他

① 保護者の観戦について

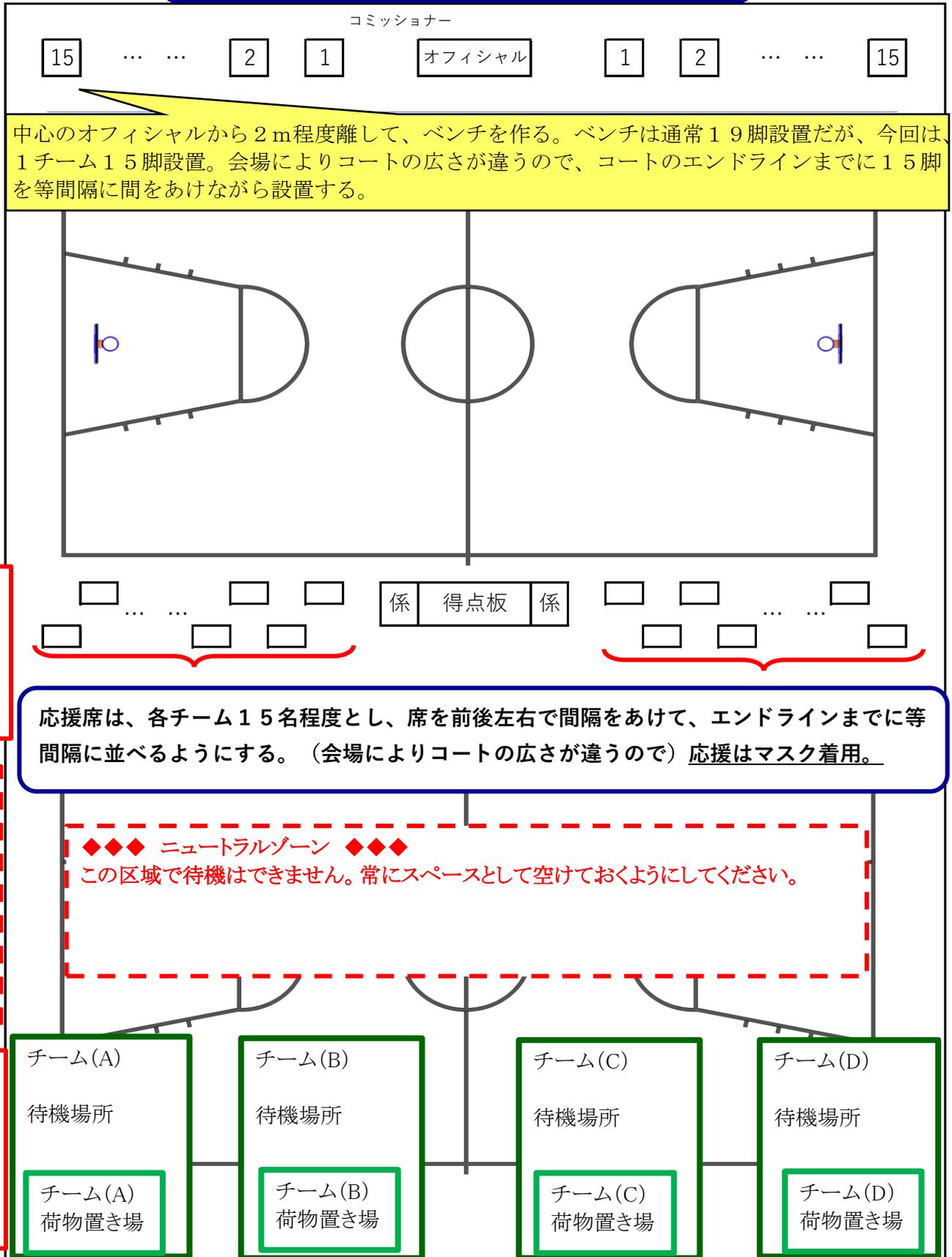
- ・原則、上記【(2) —①】以外の保護者が敷地内で応援することを禁止する。しかし、特別な事情がある場合は、競技委員長に相談し、許可を得ること。
- ・観戦する保護者は、本ガイドラインに従うこと

② 大会中止について

- ・熊本市及び熊本県バスケットボール協会U12部会からの要請等を考慮して、中止を決定する。

大会等における体育館会場図(レイアウト)について

ベンチ、オフィシャル、コミッショナーは、マスク着用



※ 試合をコート1面で行い、もう1面は、各チームの荷物置き場、兼、選手待機場所とする(マスク着用)。通路の幅や他チームとの距離を3m以上取るようにしてください。

※ この場所では、児童管理のため、保護者2名は一緒に待機場所に必ず同行する。他の応援の方は、試合が始まるまでフロアには入らないようにして、収容人数をできるだけ100名を超えない。

大会参加同意書について

熊本市バスケットボール協会 U12 部会

熊本市新人戦大会においては、国や県の指針を踏まえ、できる限りの対策をとって運営いたします。しかしながら、完全に感染リスクが取り除かれたわけではありませんので、本大会の感染対策をご理解いただき、参加する選手、保護者の皆様の同意の下に運営をしていきたいと思っております。つきましては、下記の項目及び本大会における感染対策（要項、新型コロナウイルス感染防止対策、申し合わせ事項等）の内容をご理解の上、参加していただきますよう、よろしくお願いたします。

※了解された部分の□にはチェック☑をお願いします。

- 体温の測定並びに症状の有無を確認し、発熱症状や風邪、嗅覚や味覚障害の症状があるなど、体調が悪い場合は参加を見合わせます。
- 練習及び試合に出場しない時間帯はマスクの着用をします。
- 会場入り、試合前後には、必ず手洗い（消毒）を行います。
- 会場においても可能な限り消毒液や石鹸などの準備をしますが、各チーム及び個人においてもできる限り対策グッズ等を準備し、自分でできる対策を行い、感染予防に努めます。
- 会場の特性により観客、応援および待機場所等について三密（密閉・密集・密接）を避けるため、ルールを設けてあることを理解し、大会における要項、協会長旗大会におけるガイドライン等を確認した上で、協力いたします。
- 選手及び応援者等から感染者が出た場合には、県や市の感染対策の調査や措置に協力します。主催者にも必ず連絡いたします。
- 濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることを理解し、協力いたします。

目に見えないウイルスだからこそ、誰にでも感染の可能性があります。

それぞれの立場で、できる限りの感染予防に努めましょう。

熊本市新人戦大会参加同意書

上記の内容について承諾のうえ、熊本市新人戦大会に参加いたします。

令和4年 月 日

チーム名 _____ 学年 年 _____

選手氏名 _____

保護者氏名 _____ 印 _____

（署名、捺印後、各チームの責任者に提出願います。）

健康チェックシート

本健康チェックシートは、各バスケットボール協会が開催する各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、各バスケットボール協会は、厳正なる管理のもとに保管し、大会運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なお連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

<基本情報>

チーム名		代表者 連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		電話番号	
		Eメール アドレス	
住所	〒		

<大会当日までの体温>

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃

<大会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

（大会参加者が未成年の場合）保護者 確認欄

保護者 氏名

電話番号

Eメールアドレス

確認日

西暦

年

月

日

審判部 2022年度事業計画

1 2022年度審判講習会について

○D級

【新規】

熊日学童大会に伴い帯同審判の条件がD級以上となっている為、審判D級新規希望の方はeラーニング合格後、6月16日(土)の受講参加をする。

【更新】

2022年度の更新講習会はなし。Eラーニングなし。

○C級

【新規】

eラーニング合格後、実技講習会を受講、合格。

【更新】

2022年度の更新講習会はなし。eラーニングなし。

○B級

【新規】

eラーニング合格後、実技講習会を受講、合格。(フィットネス含)

【更新】

eラーニング合格後、実技講習会を受講、合格。(フィットネス含)

○実技講習会に利用する大会

【更新】B級

・4月 U18南九州大会県予選 ・5月 熊本県高校総体 ・10月 県下高校選手権

【新規】B級(3回受験)

・7月 高校1年生大会 ・10月 県下高校選手権 ・1月 高校新人戦

【新規】C級(1回受験)

・7月 高校1年生大会 ・8月 U14地区リーグ戦 ・11月 U14地区リーグ戦

○実技を伴うライセンス更新、新規取得の手順

① 該当のeラーニングに申込・支払・受講・合格

② 該当のバナーに申込・実技講習会の費用支払い

③ 実技講習会受講(B級はフィットネスも)

④ IRより評価表を井元審判委員長もしくは岩尾IR委員長に提出

⑤ 青島がバナー修了を入力→次年度更新可能

*コロナウイルス感染防止対策のため、開催日程の変更が考えられる。正式にはホームページにUPする。

*U12の各大会におけるチーム帯同審判ライセンスをD級以上とする。

②と③が前後する場合もあり

2 昨年度ルール変更点(特に重要なもの)

○プレーヤー 怪我と介助

○スローイン:イリーガルバウンダリラインクロッシングのシグナルをしなかった場合

○交代/タイムアウト

○アンスポーツマンライクファウル:クリアパスシチュエーション

○チームファウル:オフェンスファウルによるチームファウルの罰則の削除

○コンタクト:シリンダーの概念(特にオフェンス)

3 熊本市における重点項目

○指導者、選手、保護者、審判員、TOのルールの理解の向上

○審判員とコミッショナーのコミュニケーションの取り方(ゲーム開始前、ゲーム中)

○TOの技能向上(TO主任につく指導者、保護者含む)

○審判員の資格保持者はライセンスの級関係なく全員日本公認

4 その他

(1) 審判ワッペン

○各ライセンスを取得又は更新された方は、日本バスケットボール協会からワッペンが送付されるので必ず

ワッペンを着用して審判を行う。

(2) ホイッスルカバー着用及び電子ホイッスルについて

- 審判される方（公式戦・練習試合）は、新型コロナウイルス感染対策として必ずホイッスルカバーを着用すること。電子ホイッスルを使用される方は、マスク着用で審判を行うこと。

(3) 大会について

- 保護者、指導者のマナーの徹底（インテグリティ制度の周知）
- オフィシャルの確実な理解

(4) 審判員の意識

- 服装の徹底（審判シャツ・審判スラックス・黒シューズ）。セカンドユニホームを着用の際は2人とも使用していること。
- ルール理解の徹底
- 会場やコート上での態度

令和4年度 マンツーマンコミッショナー 事業計画

1 令和4年度事業計画

(1)熊本県コミッショナー講習会の開催

○開催予定 5月下旬

(2) 各大会指名コミッショナー

○夏季大会

○協会長旗大会

2 その他

(1) マンツーマンコミッショナーの手引きについて

- 昨年度作成されたマンツーマンコミッショナーの手引きを参考にされ、大会等での運用を図ってください。

令和4年度 U12 コミッショナー講習会 開催要項

- 1 主催 (一社) 熊本県バスケットボール協会
- 2 主管 (一社) 熊本県バスケットボール協会 U12
- 3 目的
 - ・U12 指導者のマンツーマンディフェンスに関する指導力の向上を図る。
 - ・県全体のコミッショナーに関する統一見解をもつ。
- 4 期日 令和4年5月21日(土)
午前の部…80名程度
午後の部…80名程度
- 5 会場 八代市立松高小学校 体育館
- 6 講師 JBA技術委員会 マンツーマン推進プロジェクト部
牧野 広良 氏
- 7 受講者 各チーム指導者1名
- 8 講習内容
 - ・モデルゲームを通してのマンツーマンコミッショナーの運用方法の確認
 - ・マンツーマン基準規則の再確認
- 9 その他 参加費として500円を徴収する。
- 10 連絡先 熊本県バスケットボール協会 U12 部会
コミッショナー委員長 石貫 晃一
kouichiishinuki@yahoo.co.jp (メール)

マンツーマンコミッショナーのてびき

熊本県 U12 部会 マンツーマンコミッショナー委員会

1. コミッショナーの役割

「マンツーマンコミッショナーの設置および競技会(試合)における運用について」に示されている通り、ゲーム中はマンツーマンを監督・管理することが任務です。

- ①ゲームにおいて、マンツーマン推進を図るために、マンツーマンかゾーンかを見極める。
- ②起こっている事象に対して客観的に判定をする。

気になるところを声かけし、子どもたちが正しいマンツーマンでミニバスを楽しむことができるようにすることをコミッショナーの役割と捉えて任務にあたってほしいと思います。

2. コミッショナーの重要な視点

- 1) マッチアップしているか、または、マッチアップしようとしているか

(人=マンツーマン、場所=ゾーン)

→オフェンスのスタート

→カッティングに対して、適切にマークしているか(ついていっているか)

→トラップの後

→ペネトレーションに対するヘルプの後

- 2) オフボールディフェンスのポジショニング、ビジョン(ボールとマークマン)を適切に実行しているか

※首振り、自分のマークマンを中心にしているか

3. 審判との連携

- (1) 試合前

TO席で、主審、副審とともに試合を運営していくという意識で、コミュニケーションをとりましょう。

レフリーストッフのプレカンファレンスのように、ゲーム前に確認することが大切です。

- (2) 試合中

短い時間ではありますが、クォーターごとに気になることを話し合ひましょう。黄色旗を上げたケースではどういう場面なのか、その後どうなっているかも情報を共有しておきます。

4. 基本的な見方

- ①コミッショナーは立って行くことを基本とします。黄色旗、赤色旗両方を準備します。
- ②ゲームの始まりにはどの程度マンツーマンについて指導されているかを感じ取るようにします。(マッチアップのボイス、スタンス、ポジションのとり方などから)
- ③誰と誰がマッチアップしているかよりも、きちんとマッチアップする意識が感じられるかどうかを重視して見るようにします。(チェック表の記入は、サブコミッショナーと連携をしながら)
- ④ボール保持が変わった時に、ボール周辺ではなく、ボールから遠いプレイヤーのマッチアップを見ることが大切です。誰にマッチアップしているか、ボールサイドとヘルプサイド

を意識しているかを中心に判定します。

- ⑤前半、特にクォーターの始まりにチームのマンツーマンの様子を捉えることが重要です。コーチがマンツーマン、マッチアップのコールなどを意識した声かけをしている場合は、練習で意識して取り組んでいると考えられます。コーチの声かけに耳を傾けることも大切です。
- ⑥気になるときには、ベンチの方に歩み寄り、違反があったと判断したら黄色旗を上げたまま、コーチに声かけをします。(前半はベンチ前でそのチームがディフェンスになります)
※ベスト8以上(目安です)のチームには声かけはしません。
- ⑦ボールが高い位置にある時に、ミドルラインをまたいでゴール下周辺にいるプレイヤーがいた場合は、その3線のとり方に注意をはらいます。そのディフェンスがマッチアップを意識しているか、ドライブがあった時にどうなるか、マッチアップしているオフェンスの攻め気はどうかなど総合的に判断します。
- ⑧スローインの時には、スローインするプレイヤーにマッチアップしているプレイヤーに注意をはらいます。(オフボールトラップで一発赤旗のケースもあるため)
- ⑨トラップがあった時には、オンボールの所よりも残りのマッチアップに注意をはらいます。また、トラップが終息した時にマッチアップの意識があるかどうかを判定します。
- ⑩オフェンスプレイヤーがオフェンスに参加する気がない(あるいはコーチから参加しないでいいと言われている)場合は、ディフェンスにマンツーマンの意識があっても違反しているように見えることがあります。こういったオフェンスからはゾーンであるかどうかを判断する情報は出てきません。(よって旗はあげない)必要であれば、オフェンス側に声かけをすることもある。

5. コミッショナーの判定基準の考え方

コミッショナーは、ゲームの状況を考慮しながら判定を行うべきではなく、事象のみに対して客観的に判定する。

→心情やゲーム状況を考慮に入れながら判定することは、判定者の主観が大きく含まれることになり、判定基準の幅が広がることに繋がり、明確性に欠けることになるため。

【マンツーマンディフェンスの基準規則】

1. マッチアップ



図5

全てのディフェンス側プレイヤーは、マンツーマンで、オフェンス側プレイヤーの誰とマッチアップしているか明確でなければならない。

・このマッチアップの基準はマッチアップエリア(3ポイントライン(6.75m)を目安とする:ゴールから7m)内では常に適用される。

・ディフェンス側プレイヤーのアイコンタクト、言葉のサインまたは手のサイン(指さしすること)により、明確に誰とマッチアップしているかが、コミッショナーにわかること。

【マッチアップの3つの原則】

- ・「アイコンタクト」とは、マークマンを意識して、どこにいるかを目でとらえていること。
単なる首ふりはダメ。
- ・「言葉のサイン」とは、ボール、○番（マークマンのNo）、ヘルプ、スイッチ、ローテーションなど声に出してマッチアップを明確にする。
- ・「指さし」とは、自分のマークマンとボールマンとを指さししてマッチアップを明確にすること。単なる指さしのジェスチャーだけではダメ。マークマンをとらえていなければならない。

【基準規則・補足解説】

◆マンツーマンディフェンスの見分け方

- マンツーマンの意識がある。（アイコンタクト・声のサイン・手のサイン・ポジション 等）
- ボールや相手とともに動いている。
- 相手チームのフロントコート内のマッチアップエリア付近からはマンツーマンディフェンスを始めている。
（オールコート、ハーフコート等ディフェンスをし始める位置を定めない。）
- マッチアップエリア以外において、チームとして個々のオフENSに対してピックアップするディフェンスを行う場合は、スローインするオフENSにマッチアップしなければならない。

◆オールコートのディフェンスの対応

- ヘルプサイドのディフェンスは、距離における規定はないがミドルラインとの位置関係は、基準規定通り。
- ワンパスアウェイ、ツーパスアウェイにおけるディフェンスのボール ONLY はゾーンディフェンスであることの確認。

2、プレスディフェンス

チームがプレスディフェンスを採用した時（フルコート、3/4 コート及びハーフコート）でもマッチアップの基準に合致すること。

注意点：様々なゾーンディフェンスまたはコンビネーションディフェンスは、マッチアップエリア以外でも不正である。



図9

【赤旗を上げるタイミング】

赤旗を上げるタイミングは、黄色旗が上がっている状況（違反している状況）のときに、その違反しているプレイヤーにより明らかにオフENS側のプレーが影響を受ける場合は、赤旗を上げるようにしなければならない。

【例1】

ヘルプローターション後に、ヘルプサイドオフENSプレイヤーのオフボールディフェンスマンがボールサイド側に残ったまま（黄色旗が上がっている状態）で、次のドリブルペネトレーションに対してヘルプディフェンスすることは許されない。



図6

【例2】

ボールを持っている選手にトラップが仕掛けられない場面の時、

- (1) ドリブルが行われている時、またはドリブルが終わった時
- (2) パスが空中にある間に移動できる距離で、パスを受けた瞬間にトラップを成立させることができる時
- (3) 移動が容易に行える距離にある時（自分のマークマンとボールマンの距離の目安：2~3m）

トラップ（ダブルチーム）に行き、ヘルドボールにしたり、ボールを奪い取ったり、またはそのことの影響を受けパスカットされたりしたときには、赤旗を上げるべきである。

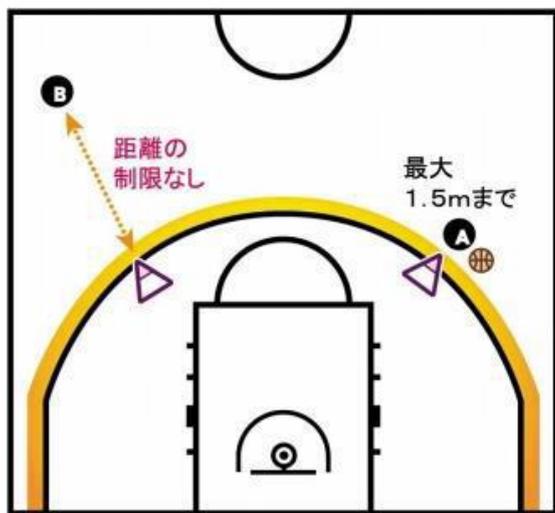


図4

3、オンボールディフェンス

ディフェンス側プレイヤーのポジションは、ボールとリングの間に位置し、距離は最大1.5メートル、つまりシュートチェックと1対1のドライブを止められる距離であること。

オフェンス側プレイヤーがボールをレシーブした時、ディフェンス側プレイヤーがボールマンにつく意図が明確にわかる、上記した位置と距離にポジションチェンジをすること。



図5

4、オフボールディフェンス

ディフェンス側プレイヤーは常にマッチアップするオフェンス側プレイヤーが見えるか、感じられるように移動しなくてはならない。ボールの逆サイド側（ヘルプサイド）のディフェンス側プレイヤーは、自分のマークマン（オフェンス側プレイヤー）及びボールも見えるポジションを取ること（ボールとマークマンを見る）。

ボールがドリブルまたはパスで動いた場合、全てのディフェンス側プレイヤーはボールと共に動かなくてはならない（ボールが動けば、ボールとオフェンス側プレイヤーが見えるポジションと一緒に動く）。ただし、フェースガードで守る場合はその限りではない。

ボールを保持していないオフェンス側プレイヤーがポジションを変えた場合、ディフェンス側プレイヤーもオフェンス側プレイヤーと共にポジションを変える。オフボールで、スクリーン

が無い状況でのスイッチは禁止する。ただし、 mismatches を解消するためにスイッチすることは可能。(mismatches プレイヤーどうしが主体的にスイッチする場合)



図8

全てのヘルプサイドにいるディフェンス側プレイヤーは、最低限片足はヘルプサイドに置かなくてはならない。ボールサイドとヘルプサイドの境界線は、ミドルライン (リングとリングを結ぶ線) である。ただし、ヘルプまたはトラップに行く場合を除く。

全てのポジションで、ボールを持っていないオフェンス側プレイヤーをトラップすることは違反である。

【理論】

ワンパスアウェイ、ツーパスアウェイの時、ボール中心は構わないが、ボール ONLY となってはいけない。

5、ヘルプローターション



図13

ボールを持っていない選手にマッチアップするディフェンス側プレイヤーは、リングを守るために、オンボールディフェンス側プレイヤーをヘルプできる。

オンボールディフェンス側プレイヤーがペネトレーションを止められず、抜かれた場合、リングへ向かうドリブルペネトレーションに対しては、ヘルプディフェンスが許される。オフボールのオフェンス側プレイヤーが、リングへカットすることをヘルプすることも許される。



図14

オフボールディフェンス側プレイヤーは、ヘルプディフェンスのために一時的にディフェンスポジションを変えること (ヘルプローターション) が許される。ただし、ヘルプディフェンス後、全てのディフェンス側プレイヤーは、直ちにオフェンス側プレイヤーとマッチアップ (前記した方法で明確に) しなければならない。

6、スイッチ

スイッチはスクリーン、トラップ後、ヘルプ後と“ラン&ジャンプ”の状況で許されるが、オフボールオフェンス側プレイヤーのポジションチェンジに対するスイッチは違反である。

ディフェンス側プレイヤーがスイッチした場合、プレー中に、ディフェンス側プレイヤーが直ちに新しいオフェンス側プレイヤーとマッチアップ（前記した方法で）したことが、コミッショナーに認識できるように明確にすること。

7、トラップ



ボールを保持している選手をトラップすることは許される。ただし、トラップ後は直ちにマッチアップを明確にしなければならない。

ボールを持っている選手にトラップが仕掛けられる場面は次のとおり。

- (1) ドリブルが行われている時、またはドリブルが終わった時
- (2) パスが空中にある間に移動できる距離で、パスを受けた瞬間にトラップを成立させることができる時
- (3) 移動が容易に行える距離にある時（自分のマークマンとボールマンの距離の目安：2～3m）

○トラップ後とは、トラップされた選手からボールが展開された（さばかれた）時点をいう。その時は、直ちにマッチアップ基準を満たすようにプレーしなければならない。

すなわち、マッチアップの3つの原則により、マッチアップを明確にしなければならない。

6. 違反があった時

(1) 赤旗について

○1回目の赤旗は「警告」です。主審は、TO席の前に両チームのコーチを集め、コミッショナーからの説明後に、当該コーチに対し、警告（1回目）であることを明確に伝える。この間、副審はコート内の選手を把握し、すぐにゲームが再開できるようにその場に待機させる。コーチから選手に説明が必要な場合、TO席前にコート上の5人の選手を集め、説明を行わせた後、速やかにゲームを再開させる。

○2回目の以降の赤旗は「マンツーマンペナルティ」となります。主審はTO席の前に両チームのコーチを集め、コミッショナーからの説明後に、当該コーチに対し、マンツーマンペナルティを宣す。（相手チームに1本のフリースローが与えられ、そのチームのスコアラーステーブルの反対側のセンターラインの延長上からのスローインで再開する。）※2020年度から

(2) テクニカルファールについて

黄色旗で声かけして指導してくれない時は、改善（選手のプレーについての改善）されていなければ赤旗を上げます。そこではコミッショナーから指導するように促すので、それでも指導してくれない時は、ゲームの運営の妨げになっていますので、テクニカルファールを主審が宣します。また、コミッショナーに対して、暴言等がある場合もテクニカルファールを主審が宣します。

7. 熊本県のチームに気を付けていただきたいこと

- 手のサイン等があっても「明確に」という文言が当てはまらない場合、コミッショナーが「マンツーマンディフェンスをしていない」と判断する場合がある（体の向きやポジショニングの指導をお願いします）。
- オフボールディフェンスにおいて、ボールとマークマンの位置を確認し、自分のポジションを確定するための首振りには認められるが、ポジションを固定（動かない）しての首振りは「常に」という文言に反する。
- オフェンスが明らかなアイソレーションの時は、自分のディフェンスを少しでも捉えていればこの限りではない（「常に移動しなければいけない」ではない）。
- 制限区域内にオフェンスがいる時点では、「予測に基づいてボールを持っていないオフェンス側プレーヤーをトラップすることは許される」とあるが、あくまでトラップが許されるだけであり、トラップとは三原則に基づいたトラップのことである。（ボールマンディフェンスが制限区域内を守るために、中途半端なポジションを守ることは許されない）。
- （熊本県では）赤旗が上がったが、ブザーが鳴らずに速攻が決まった場合でも、赤旗が上がった時点で違反行為があったとみなし、赤旗が上がった時点までゲームを戻すため、ノーカウントとする。
※基本的には、このようなことが無いようにコミッショナーをされる方は気を付けてください。

8. U12 と U15 の相違点

- ・トラップ三要件（U12）
- ・技術不足は罰しない（U12）
- ・予測に基づいていると判断した場合は旗をあげない（U15）
- ・4Q、OTの最後の2:00における違反は1回目でも赤旗の対象とできる（U15）
- ・4Q、OTの最後で赤旗があがったまま時間が終了した際に、フリースローを行っても勝敗に関係のない場合は処置しない（U15）
- ・マンツーマンペナルティによる退場：U12は3個、U15は2個

9. おわりに

「マンツーマンディフェンスの基準規則」の「判定に際しての留意点」にもありますが、コミッショナーの役割は誤って違反した選手を積極的に探し取り締まることではありません。

マンツーマンを普及、推進し、円滑に試合運営を行うことが最大の目的です。

つまり、子どもたちが正しいマンツーマンを身に付け、バスケットボールに親しみ、楽しみ、バスケットボールに生涯関わり続ける素地を養うことが大切だと思います。

クォーター間、ハーフタイムなどで審判とコミュニケーションをとったり、コーチにしっかりと説明したりしながら、子どもたちのために円滑な試合運営を心がけてコミッショナーの任務を担っていただきたいと思います。

また、ディフェンスだけに目を向けるのではなく、オフェンスの仕方についても合わせて考えていくようにしましょう。マンツーマン推進の根幹には、「個の育成」があります。子どもたちのレベルアップのためにも熊本県として取り組んでいければと思います。

令和4年度(2022年度) チーム及び個人登録手続きについて

令和4年(2022年)4月17日

U12部会 総務 藤本

今年度も、日本バスケットボール協会(JBA)の「Team JBA」システムに沿って登録作業を行っていただくことになります。どうぞ、よろしくお願いたします。

つきましては、以下の登録手続きが必要になりますので、手順を確認していただき、登録作業をお願いします。詳細は、JBAのHP (<https://team-jba.jp/>) 上に掲載されているマニュアルを参照してください。

※今回、システムが変更されておりますので、始めにパスワードの再設定が必要となります。

- 1 JBA(日本バスケットボール協会)へのチーム登録および個人登録
- 2 熊本県バスケットボール協会へのチーム登録および個人登録
- 3 各郡市協会への登録(各郡市の規定に沿って登録すること)

上記全ての登録を期限内に済ませることで、県協会が主催する大会「熊日学童オリンピック・県大会(郡市予選を含む)・火の国旗選抜大会」への参加が認められます。余裕をもった早め(締め切り5/31)の申請をお願いします。

【登録完了日は令和4年5月31日 ただし、チームの追加登録は9月30日】

※その後の個人の追加登録はできるが、登録完了後2ヶ月間は県協会が関係する大会等の参加はできない。
(移籍の場合も同様) ⇒登録完了とは、移籍申請書が承認され、システムでの移籍が承認された日

1・2 JBA(日本バスケットボール協会)へのチーム・個人登録 および熊本県バスケットボール協会登録について

インターネットで日本バスケットボール協会のサイト [Team JBA URL:https://team-jba.jp](https://team-jba.jp) へ行き、指示に従って登録を進めてください。(新しくなっています。)

JBAサイト内にあるマニュアルを参照されるとスムーズに進めることができます。

※別チームから移籍等で追加登録する場合は、選手の【ID、カナ氏名】を入力し、該当者を検索後、情報等を更新された上で、追加登録処理を行ってください。

選手の新規登録(IDをまだ持っていない選手)の場合は、必要な情報等(氏名・身長・学校名など)を入力して、登録を行ってください。

※登録承認後は、手順に沿って「支払い」を行います。手続きから、支払い完了までの期限が設定されていますので、期限を過ぎないように、コンビニエンスストア等で請求額を納めるようにお願いします。

登録時に必要なもの

- インターネットに接続可能なPC(タブレットなど)
- チーム責任者のメンバーID(パスワード)
- コーチ・審判(必ず1名以上の登録が必要)
- 登録料

・日本バスケットボール協会チーム登録	1チーム	2000円
・日本バスケットボール協会個人登録	(10歳以上) 1人	800円
・県バスケットボール協会チーム登録	1チーム	1000円
・県バスケットボール協会個人登録	1人	400円

計 3,000円+人数×1200円

別途、1回につき、振込手数料273円(税込)がかかります。

この金額は、前述の1・2の登録に関するものです。インターネット上で登録を済ませることで、JBAから届く請求金額を示しております。

10歳未満の選手の個人登録費は、県協会に納める400円のみとなっています。

3 各郡市協会への登録について

問い合わせ先:各郡市協会担当者

各郡市協会によって異なりますので、各郡市の支部理事から詳細はお聞きください。

R4 熊本市ミニバスケットボール夏季大会要項

1. 主催 熊本市ミニバスケットボール協会
2. 日時 令和4年6月18日(土)19日(日)3チームのリーグ戦または4チームのトーナメント戦
6月25日(土)順位別リーグ(初日の勝ち上がりチームのみ)
3. 会場 熊本市内の小学校
4. 参加人員および資格
 - ・ コーチ1人、マネージャー1人、アシスタントコーチ2人、選手8人以上15人以内 チームは、熊本県ミニバスケットボール協会U12部会に加盟・登録、及び日本バスケットボール協会にチーム登録されたチームかつコーチライセンス取得者が1名以上いるチームであること。選手は平成22年4月2日以降誕生の者で、日本ミニバスケットボール協会に個人登録されたものとする。
 - ・ JBA公認コーチライセンスを保持する指導者が1名以上、及びJBA公認審判員が1名以上いるチーム
5. 要項
 - ①大会初日は3チームのリーグ戦または4チームのトーナメント戦をおこなう。
(初日のリーグ戦の上位2チーム、トーナメント戦の上位3チームが二日目に勝ち上がる。交流戦は行わない。)
(男子6チーム、女子8チームを協会旗大会のシードとする。)
 - ②大会二日目は男子を3ブロック、女子を4ブロックに分け、リンク戦を行う。
 - ③競技規則は、日本ミニバスケットボール競技規則に準ずる。ゾーンディフェンスは禁止。なお、試合球に関しては、日本バスケットボール公認球(5号合成皮ボール)を持ち寄りで使用する。
ただし、下記の特別ルールを用いる。
 - ・ 競技時間は5-5-(5)-5-5分とし、笛の合図で時計を止める。
 - ・ 延長時間は、3分とし、第4クォーターの競技方法で行う。再延長は再度3分間の延長を繰り返して行い、必ず勝敗を決定する。
 - ・ タイムアウト、出場と交代に関しては、JBAの定める新規則に準じる。24秒(14秒)ルールを適用する。
 - ・ リーグ戦、またはリンク戦の代表決定について(直接対決の勝敗を優先する。)
 - (1) 当該チームが2チームの場合
2クォーターの決定戦を行う。ただし、個人ファールを2個している状態から始める。
 - (2) 当該チームが3チームの場合
5人のフリースローによる決定戦を行う。なお、フリースローが同数決まった場合にはサドンデスとする。
8人目以降は、1人目に戻ってもよい。
 - ④ベンチには、監督1、コーチ1、アシスタントコーチ1、マネージャー1、選手15名だけとし、ベンチに登録していない者(保護者等)は入らないようにする。
 - ⑤各チームは会場美化に努める。(土足の厳禁、食べ物の後始末、トイレの使い方など)
 - ⑥チーム指導者は、選手及び保護者のマナーについては責任をもって指導する。
(「ミニバス5つの心得」の徹底)
 - ⑦新型コロナウイルスにおける感染防止については、熊本市バスケットボール協会U12部会の定める大会ガイドラインに準ずる。
 - ⑧本大会は、火の国旗選抜大会(未定)の熊本市代表の選考会を兼ねる。
6. その他
 - ①表彰 各ブロックの優勝、準優勝チームには賞状を授与する。
 - ②参加費 1チーム5000円を参加費とする。
 - ③メンバー表及び参加費
申込書 《6月7日(火)までに、Excelデータで以下のアドレスに送付すること》
※ファイル名に、必ずチーム名を入れて提出すること(例)「夏季大会申込書(月出男子)」【送付先】sakamoto.shinichi@kumamoto-kmm.ed.jp
夏季大会参加費(5000円) **6月11日(土) 10:00~11:00**
白川小体育館(担当 松嶋)
 - ④夏季大会 組み合わせ抽選会など
大会初日 : 令和4年6月11日(土) 18時~ 場所未定 (抽選は熊本市常任委員による代表抽選)
大会二日目: 令和4年6月19日(日) 18時~ 場所未定 (抽選は熊本市常任委員による代表抽選)

保存版

緊急連絡などのメール配信 『熊本ミニバス安心メール』について

春風の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、熊本県バスケットボール協会U12部会では、一斉メール配信システム「熊本ミニバス安心メール」を導入しております。大変お手数をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

下記＜留意事項＞をよく確認されて、ご登録をお願いいたします。
(昨年度の登録者の方は、必要ありません。)

新規の方は、4月30日までに必ず登録をお願いします！

※必要な情報等はメールにて連絡しますので、必ず早めに登録していただきますよう、お願いいたします。

支部からの連絡

10月〇〇日からの秋季大会監督会議を9月△△日(△)19時より□□□会議室で行います。
申し込み用紙2枚と、参加費を忘れないように持参してください。
※各支部のみの連絡もできます。
各支部の代表者からの連絡となります。

常任理事会の案内

〇月×日(月)は、常任理事会です。お忙しいところを恐れ入りますが、参加をお願いします。
今回の議事は、△△△の事項を中心に会議を行います。

配信される 内容の一例



部会からの緊急連絡

本日の〇〇の試合は台風の為中止とします。今後の対応については、決定次第、ホームページにてお知らせします。

部会からのお知らせ

県大会最終日の結果をホームページにアップしました。ご確認をお願いします。

指導者へのお知らせ

〇月×日(土)は学童オリンピック大会の組み合わせ抽選会を下記の通り開催します。必ず各チーム1名の参加をお願いします。
～記～ 場所:益城町総合体育館第一

＜留意事項＞

- ①登録された個人情報、配信以外に使用することはありません。
- ②受信には通常のメール受信料がかかります。
- ③メールアドレスを変更された場合は、再度空メールを送り再登録してください。
- ④登録はU12部会関係者の方に限らせて頂きます。
- ⑤メールシステムの利用料は、下記2社の協賛により無料ですが2ヶ月に1～2度、協賛頂いている旨のお知らせメールを配信します。協賛事業所に個人情報が開示されることはありません。

「熊本ミニバス安心メール」を支えていただく協賛事業所

●大型ヨックソフセンター ゆめタウンはません ●あすを読む 熊本日日新聞社

熊本ミニバス (U12) 安心メール 登録のしかた

1

ケータイから、
min@gw.ansin-anzen.jp
に空メールを送信します。

※空メールとは・・・
件名、本文を入れずに送信するメールのことです。
※スマートフォンでの空メール送信は件名に任意の
1文字(「あ」等)を入力してください。

QRコード



《登録フォーム表示 サンプル》



《登録画面表示 サンプル》

※は必須項目です
ご登録メールアドレス
xxxxxxx@docomo.ne.jp
登録者名を入力 *

■登録者所属 *

指導者
 保護者等

■所属(複数選択可)

荒尾
 玉名
 山鹿
:

チーム名

入力内容確認 キャンセル

2

登録フォームが返信されます
ここ (URL) をクリックしてください

※返信がない場合は携帯の指定受信設定を
お願いします。下記 ⚠ を参照をお願いします。
※URL付メールを拒否していると返信が来ない場合があります。
詳しくは携帯電話ショップにてお問合せください。

3

「本登録画面へ」ボタンをクリックし、出てきた画面(左図参照)
の登録項目を入力し最後に「登録」ボタンを押して下さい。

※登録状況が把握できるよう、実名での登録をお願いします。
※お名前等の本登録がない場合はメールが配信されませんので、
必ずお名前等の入力をお願いします。

注意!!

「空メール送信後、返信が来ない」等の理由で、空メールを2回以上
送信された方へ！
空メールの送信後返信されてきた画面の下部に「登録内容確認 & 変更」「配信再開」と
表示される場合があります、その場合必ず「配信再開」ボタンを押して下さい。
この作業を行わないとメールは配信されません。

このボタンを押し、内容を確認後、再度登録ボタンを押してください。



空メールを送っても返信が届かない方へ！

ドメイン指定受信設定の方法はこちら



<http://tmix.co.jp/mobile/domain/>

お客様サポート電話番号(フリー)

- ◆ docomo(0120-800-000)
- ◆ au(0077-7-111)
- ◆ SoftBank(0800-919-0157)

※ URL付メールも受信許可に、auの場合「なりすまし規制」を「中」以下に設定してください。

設定方法がお分かりにならない場合は、この用紙をお持ちになり携帯電話各ショップに、設定をお願いしてください。

《携帯ショップスタッフの方へ、下記の設定をお願いします。》

- ① ドメイン(anzen.jp)指定受信の設定をお願いします。(メールアドレス指定ではありません。)
- ② URL付メール受信許可の設定をお願いします。
- ③ auの場合「なりすまし規制」を「中」以下に設定して下さい。
- ④「空メール送信」→ web接続 → 「会員登録ページ」の表示と会員登録 までの確認をお願いします。



安心メール協賛事業所募集中！

安心メールのしくみ



<http://tmix.co.jp/kyousan/>

安心メール協賛事業所ご紹介



または、「学校安心メール」をYouTubeで検索。

熊本ミニバス安心メール に協力いただく協賛事業所募集中！

上記以外でのお問い合わせは、メールで(ga@tmix.co.jp)へ、
tmix.co.jp のドメインからメールを受信できるよう設定し、

①熊本県バスケットボール協会U12部会 ②お名前③電話番号 ④お問い合わせ内容を記入の上、(株)テクノミックスまでお問い合わせ下さい。

●テクノミックス(<http://www.tmix.co.jp/>)●

熊本県U12部会 県外チームとの交流「申請書」

県外チームとの交流を行う際、支部理事の許可を得て、U12部会へ申請書を提出してください。

県外チームとの交流（合同練習、練習試合等）を行う際は、特に感染防止について細心の注意を払ってください。また、県外との交流後、7日間は、他チームとの交流は行うことはできません。

申請の流れ

- 1 支部理事の許可を得る
- 2 申請書をU12部会 坂田へ送る ※交流7日前までに送る
- 3 U12部会の承認を得る
※申請書提出後、3日以内に返信等がない場合は、再度連絡ください
- 4 県外との交流後、7日間は他チームとの交流は行わない

1 支部理事の許可

支部名		支部理事の許可	あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/>
支部理事名			

2 自チームデータ

指導者名		チーム名	
携帯番号		メールアドレス	

3 県外交流チーム

チーム名		県名	
指導者名		携帯電話	

4 大会名（練習試合名）

大会名		会場名	
期間	年 月 日 ~ 月 日		
感染対策	あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/>		

申請先

メール
担当者

kumamoto_u12@yahoo.co.jp

U12感染対策委員 坂田

(申請書等 提出先)

※感染対策についての相談窓口は、U12部会感染防止対策担当の坂田まで

U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

<やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる

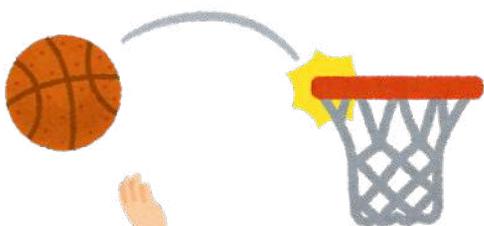


ナイスプレー！
その調子！！



<やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



なにやってるんだ！
言った通りにやれ！

みなさんの指導は
どうですか？



すべてのプレイヤー・指導者・保護者・観客に贈る ミニバスケットボール5つの心得

みんなで **Good Minibas** をつくりましょう！

この心得は、子ども達が一層ミニバスケットボールを楽しむために、プレイヤー、指導者、保護者、観客が一体となって環境を整えるルールです。それぞれの立場から、魅力あるミニバスケットボールの環境づくりへのご協力をお願いします。



プレイヤーのための5つの心得

自分でチェック
しよう！

- 1 いつも全力を尽くそう**
あなた自身のため、そしてチームのために、いつも全力でプレイしよう。
- 2 ルールや判定にしたがおう**
まずルールを正しく覚え、審判の判定にしたがってプレイしよう。
- 3 試合に関係する全ての人に感謝をしよう**
相手チーム、審判、TO、家族に感謝の気持ちを持ちましょう。これらの人なくして試合はできません。
- 4 よいマナーを心がけよう**
当たり前のことを自然に行えるようになろう。
例えば、会場で自分のゴミを持ち帰るのもその一つです。
- 5 学習活動も一生懸命やろう**
あなたはまだ小学生です。
学習もスポーツと同じくらい一生懸命やろう。



指導者のための5つの心得

常に自己評価を
忘れずに！

- 1 敗戦はあなたの責任です**
敗戦をプレイヤーや審判のせいにすることなく、冷静に課題をみつけましょう。向上心を忘れず謙虚な気持ちで指導にあたりましょう。
- 2 体罰、言葉の暴力は厳禁です**
全指導者で、体罰・暴言を根絶しましょう。指導者同士で注意し合える関係づくりに努めましょう。
- 3 子どもの将来を考えた指導に心がけましょう**
小学生の時期は、頭も体もおおいに成長します。技術に加え、適切な判断力や行動力、マナーを指導しましょう。
- 4 選手をたくさん褒めましょう**
プレイヤーは不安や緊張の中でプレイしています。結果ばかりに注目するのではなく、何かにトライしたことを褒めてあげましょう。
- 5 審判のレベルアップに貢献しましょう**
Good Minibas には審判の育成が不可欠です。指導者がルールをよく学習し、審判活動にも進んで取り組みましょう。



保護者のための5つの心得

子ども達のため
に確かめよう！

- 1 よいマナーのお手本を示しましょう**
保護者のみなさんの日頃のふるまいや応援中の言動が子ども達のマナーや礼儀に影響します。進んでよいお手本を示しましょう。
- 2 子どもたちを励ましてあげましょう**
お子さんが自分の興味を膨らませ、ワクワクしながらミニバスに参加できるように、たくさん励ましてあげましょう。
- 3 努力の大切さを教えてあげましょう**
努力を続けることが、将来的な子ども達の成長につながります。目先の勝利にこだわることは成功の近道ではないことを教えてあげましょう。
- 4 批判は禁物、思いやりが大切です**
お子さんやその仲間達、指導者への批判は、お子さんの成長をさまたげます。思いやりの心をもって、努力や挑戦を認めてあげましょう。
- 5 周囲を敬い、助け合いましょう**
チームは子どもを預けるところではなく、ともに子ども達を育てるところです。指導者や保護者会の方々と協力しましょう。



観客のための5つの心得

応援のマナーを
振り回ろう！

- 1 ミニバスを存分に楽しみましょう**
スポーツは楽しむためのものです。周囲の方々と一緒になって会場を盛り上げましょう。
- 2 子どもたちのがんばりを応援しましょう**
子ども達が、あきらめそうになったり、くじけそうになったりした時こそ応援しましょう。プレイヤーは、たくさんの応援で輝きます。
- 3 全てのプレイヤーのよいプレイに拍手を**
自チーム相手チームに関係なく、プレイヤーのがんばりには惜しみない拍手をおくりましょう。会場の拍手が、プレイヤーのエネルギーになります。
- 4 会場のマナーを守りましょう**
試合会場は、他の団体を含めたくさんの方が使われます。持ち物やゴミの管理に気をつけましょう。応援のみなさんもミニバスの関係者の一人です。
- 5 家族やお友だちをたくさん誘いましょう**
ミニバスがもっと盛り上がるように、たくさんの人を誘ってください。一人一人の声かけが、大きなつながりを生みます。

